



第38号

発行・編集：福祉のネットワーク永山
事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会
TEL：042-373-5616
令和2年10月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

新しい地域活動の在り方

第1回 福祉のネットワーク永山定例会 「新型コロナウィルスの中での 新しい地域活動の在り方」

日時 9月19日(土) 10時～12時
場所 諏訪地区市民ホール 第1会議室

「福祉のネットワーク永山」は、コロナ禍の意識や行動の変化をテーマにして今年度第1回の定例会を開いた。事務局の社会福祉協議会が事前に行ったアンケート調査の結果を発表、続いて参加者が現状と今後について報告し合った。各団体で、イベント、活動が中止となったり、施設の利用が制限されたりしたため、住民が顔を合わせなくなりがちだが、そうした状況に

対応した情報発信に努める新しい動きがみられる。

市内の他の地域ではコロナに関する特別号の広報紙を作成して全戸配布したところもある。一方的な情報発信ではなく、記事を住民から集めて「おすすめの散歩道」や子どもが参加できる「塗り絵」を募集、といった内容にしてコミュニケーションを図ったものだ。団地の掲示板を活用して壁新聞を作り励まし合うといった取り組みをしている地域もある。

定例会の参加者の報告では、永山5丁目の瓜生サロンがサロン開催できない間に始めた交換日記について説明した。参加者が料理のレシピや自己の生い立ちなどさまざまなことを書いて3巡目に入っている。そうして絆を保っているが、サロンが再開でき、交換日記が必要なくなることが望ましいと言う。普段は体操と茶話会をしているサロン(アイ♪ビ)は、メンバー同士をスマホでつなげ体操を週に2回行っているが、スマホを通じて深呼吸する際のメンバーの息遣いがわかり安否確認にも役立っている。住民が会いにくい状況だけに、新しいコミュニケーションが求められ、新しい情報発信の仕方が工夫されている。



【事前アンケート結果】

地域の中で生じた課題や寄せられた声	地域で工夫したこと、新たに取組んだこと
<ul style="list-style-type: none"> ・集会所等の場所が使えない。 ・イベントや集う活動がほぼ中止となった。 ・つながりの希薄化が見られた。 ・体力や筋力が低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限や環境の整備をし、活動再開をすすめた。 ・屋外を活用し、活動実施した。 ・オンラインを活用し、活動継続した。 ・会った際に声を掛け合うなど、地域での支えあいを意識した。 ・広報紙を充実させて、つながりを補えるようにした。

◇太極拳とラジオ体操

■日時：毎朝 6 時～

■場所：永山南公園

地域活動のご紹介♪



毎朝 6 時頃から永山南公園駐車場付近で F さんご夫婦をはじめ4人で太極拳をしている。じつは、国士舘大学市民公開講座で太極拳を受講していたのだが、コロナ禍で休校となり、リモートワークでの運動不足解消を目的に自主練習をしているのです。太極拳に続き、6時半からのラジオ体操には、体操仲間も集い、10人ほどで行っている。

コロナ騒動が終息してもこの太極拳の自主練習は続けるのでどなたでも参加自由とのことだ。

福祉のネットワーク永山とは

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 10時～12時 東永山複合施設
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第3土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- さんぼ会：毎月第1・3水曜日 グルメシティ前 10時集合
- まち歩き：毎月第2火曜日 参加希望者は当日集合場所へ（先行・集合場所は事務局へお問い合わせください）
- 見守りウォーキング：毎月第2・4月曜日 15時30分集合
瓜生地区：グルメシティ前（永山商店街内）
永山地区：グリナード永山2F マクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日 13時30分～15時30分
諏訪地区市民ホール 1階第1会議室



▲定例会の様子

※今年度はさんぼ会、まち歩きは中止します。見守りウォーキングは10月より再開します。子どもたちの見守りをしながら、地域を歩きませんか？

<ま・ち・か・ど>



毎年11月3日頃、多摩市永山6丁目の小野路第4公園で菊の展示会が催される。「6丁目菊の会」のメンバーが丹精込めて育てた菊の発表会。ちょうど文化の日頃に菊は満開になる。公園の6丁目集会所の前にテントが張られ、数多の菊が天地人と長さを揃え飾られる。例年、菊の展示会当日は、婦人たちの協力により豚汁が振舞われお祭り気分を演出。ニュータウン開発が始まる以前から続けてきたイベントだ。第1世代とっていい当時のメンバーは高齢化などで減り、現在のメンバーは10数人になっている。永山5丁目の住民など6丁目に限らず菊を育てて出展する新会員の参加が待望されている。

